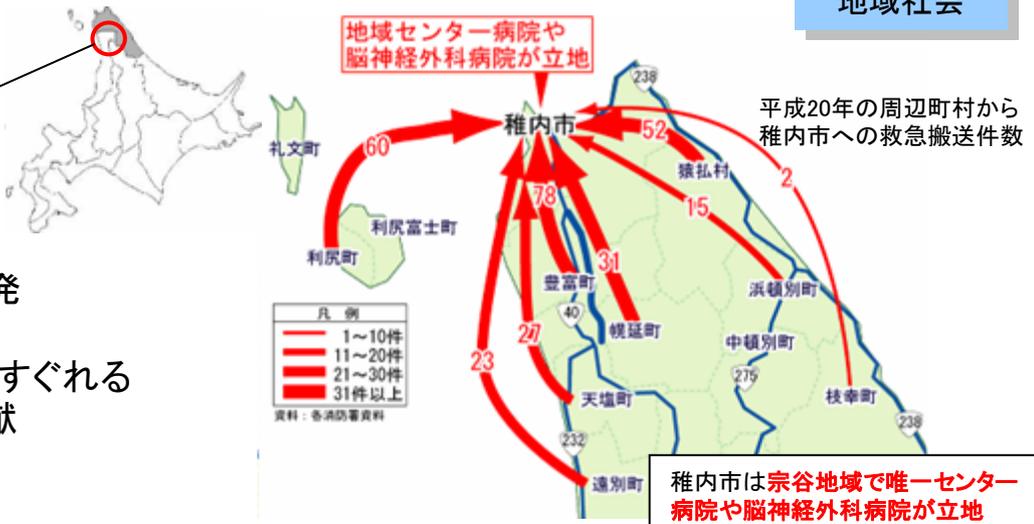


●地域の救急医療を支える 豊富バイパス・幌富バイパス

- ・地域医療は、稚内市や旭川市など、主要都市に依存
- ・冬期の気象条件が厳しい道北地域は通行止めが頻発
- ・豊富バイパス及び幌富バイパスは確実性、速達性にすぐれる救急搬送路として活用され、地域医療サービスに貢献

豊富バイパス
幌富バイパス



●唯一の搬送路

平成17年2月21日夜間に、豊富町から稚内市への救急搬送が発生。国道40号等が吹雪により通行不能となる中、救急車は豊富バイパスを走行し搬送。

豊富バイパスが唯一の搬送路

●搬送中の患者の負担を軽減

北留萌消防組合幌延支署へのヒアリングより

<救急搬送頻度>
約80件/年の搬送のうち、約30件が稚内への転院搬送。

<今後の転院搬送ルート>
今後、稚内への転院搬送は幌富・豊富BPを利用予定です。

<想定・期待する効果>
搬送時間が10分程短縮すると考えています。また、カーブが少ないこと等で、患者の負担軽減が期待できます。

幌延～豊富町開通間はバイパス利用により**7分短縮**

●バイパス開通直後より地域医療に貢献

平成22年3月15日～5月25日の幌富バイパス利用の救急搬送

市立稚内病院、稚内禎心会病院へ

幌富バイパスは、平成22年3月の開通直後から救急搬送路として活用され、地域の救急医療・高次医療を支援している。

幌延町から稚内市へ **6件**

稚内市から旭川市へ **2件**

救急医療の科目
・脳神経外科
・産婦人科
・小児科等

幌富バイパス 平成22年3月14日開通

旭川医科大学病院、旭川厚生病院へ